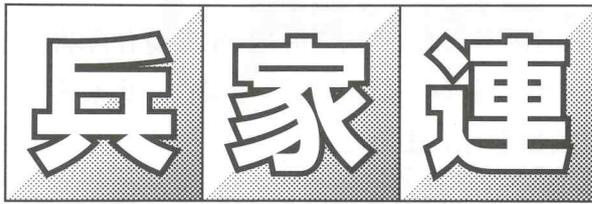


KSKP



(平成23年7月) No.67

編集人

(社)兵庫県精神障害者家族会連合会

本條 義和

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1  
兵庫県福祉センター6階

TEL 078-891-3871/FAX 078-891-3872

Eメール hyokaren@citrus.ocn.ne.jp

## 兵家連 平成23年度予算総会を開催

3月11日の東日本大震災で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。又未曾有の災害の1日も早い復旧と復興をお祈りいたします。

さて、同月25日に、兵庫県福祉センターにおいて、3月予算総会が開催されました。当初予定していた議案のほか、東日本大震災の被災地支援についても協議しましたが、義援金については「配分は早い方がいい」という意見のほか、「今回は被害が大変甚大で広範囲にわたっているため復旧まで相当時間を要することから、1年後ぐらい後に届ける方がいい」との意見もあり、協議の結果、「先ず4月30日に一旦締めて、みんなねっとに送金し、更に1年後にもう1度送金する」という2段階方式が決まりました。また、精神障害の場合、障害が見えにくく、まだまだ偏見が強いことから支援を受けにくいいため、義援金だけでなく支援情報の提供等様々な方法で支援していくことになりました。

総会の主な議題は以下のとおりです。

### ①定款第2条の変更

兵家連の事務所を神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター6階に変更する。

### ②平成22年度補正予算

県より新たに交流事業補助金として100万円交付されることになったため

### ③平成23年度事業・活動計画

### ④平成23年度収支予算

### ⑤平成23・24年度役員選出

◆会長/本條 義和 ◆副会長/涌波 和信・米 靖弘 ◆常務理事/瀬谷崎 政徳

◆理事/大倉 正也・久下 弘・上田 修司・渋谷 進・河上 紀子・島 サヨミ・細見 辰夫・寺田 隆夫  
竹内 和男・西川 良一

◆監事/山本 勝利・古岡 菊雄 ◆顧問/西浦 三郎・藤田 修美

### ⑥公益社団法人認可申請について

総会終了後、「兵庫県の精神保健福祉行政について」をテーマに県障害福祉課 城友美子係長の講演がありました。会場からは、精神障害者相談員制度の活用や、医療費助成制度に市町間格差があることなどの質疑もあり、活発な意見交換の場となりました。

## 精神科救急窓口の案内

精神科救急情報センター 電話番号 078-367-7210

平日 午後5時～翌日 午前9時 土・日・祝日 午前9時～翌日 午前9時 (平日昼間は健康福祉事務所へ)

◆利用される場合は、氏名・住所・連絡先を対応職員に告げて下さい◆

## ◇◇◇ 兵家連等障害者3団体合同で井戸知事に新年挨拶 ◇◇◇

平成23年1月6日(木) 16:30~17:00、知事応接室において、(財)兵庫県身体障害者福祉協会(小川英一理事長等4名)、(財)兵庫県手をつなぐ育成会(小原理事長等2名)、兵家連(本條会長、涌波副会長)の3団体で、井戸敏三県知事に新年挨拶を行いました。

席上、知事より「障害当事者3団体と、施設側との意見交換会を設置しては」との提案があり、早速3月9日、障害者3団体と身体障害者施設協会、知的障害者施設協会、精神科病院協会の6者懇談会が開催されました。

## 〇〇〇 県会議員精神保健研究会開催される 〇〇〇

平成23年1月27日(木) 14:00~西脇市コミュニティセンター 黒っこプラザにおいて、超党派県議員で構成される精神保健研究会(山本敏信代表世話人)の北播地区現地交流会が開催されました。

これには、超党派の関係議員14名と、県当局より大西障害福祉課長をはじめ障害福祉課および障害者支援課職員6名、西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可町の福祉関係課長等11名が参加されました。兵家連からは、本條会長及び久下白ゆり家族会会長・伊東ほのぼの会会長・北川はとの会会長が出席しました。

当日は交流会に先立ち超党派の関係議員による施設の視察が行われ、各議員は施設職員に熱心に質問をされていました。

交流会は、岡やすえ議員(民主党・県民連合世話人)の進行により、

- 1 開会
- 2 精神保健研究会代表あいさつ 山本敏信 代表(県議会議員)
- 3 兵家連会長あいさつ 本條義和 会長
- 4 出席者自己紹介
- 5 内容
  - (1)「平成22年度精神保健福祉関連施策」等について概要説明
  - (2) 交流会
    - 「精神障害者及びその家族を取り巻く情勢や諸問題について」
    - ・重度精神障害者医療費助成の対象と拡大について
    - ・グループホーム等の住居の確保について
    - ・家族支援について
    - ・啓発・教育について

などが話し合われました。

又、このたび同研究会の立ち上げ時から、まとめ役としてご尽力され、兵家連にも何かとご支援、ご指導をいただいております岡やすえ先生が、平成3年4月以来5期20年務められた県議会議員を勇退されました。本当に長い間ありがとうございました。

尚、他の会派世話人の先生方は今期も再選を果たされました。現時点での各会派世話人は下記の通りです。

世話人	〈自民党〉	山本 敏信、小田 毅	〈公明党・県民会議〉	大野 ゆきお
	〈民主・県民連合〉	岡 やすえ	〈日本共産党〉	ねりき 恵子

# T O P I C S

## 兵庫県下各地・各家族会から

### 但馬・丹波地区

### 家族会活動で思うこと

のぎく家族会 会長 古岡 菊雄

この3月、永年副会長として会の活動に格別の尽力をされた会員が亡くなりました。

私達は、家族会の会員を増やし、仲間づくりをめざして頑張ってはいるのですが、会員の高齢化は進み、一人またひとりと年々会員数が減っています。

同じ悩みを持つ者が家族会の会員となって一同に集い、普段、他人には話すことのできない胸の内を心おきなく語り合い、励まし合い、そして病気のことや精神保健福祉制度のことなどについて学習しながら、充実した人生、充実した家庭生活を送ることが家族会の目的です。地域には悩み苦しんでいる方はまだまだたくさんいるはずなのですが、会に加入する人が少ないのが現状です。

私達が家族会を結成し活動していることを、町の広報紙に掲載したり、病院の待合室に掲示していますが余り効果はありません。以前は、保健所の任務として、各町に担当者を配置して、対象家庭に声かけをしてきましたが、現在は町に業務移譲されているようです。しかし町はノウハウも浅く、手がまわらない様子です。

そして、全国で兵庫県のみが実施している相談員制度も今のところ実を結んでいません。相談員制度は、町が精神保健福祉施策として力を入れ、障害者や家族に手を差し伸べる努力をするべきなのに、県の分野のものとして力が入っていないように感じます。

家族会を絶対に消滅させてはならない。しかし、会員が増えない。どのようにして会員や仲間を増やすことが出来るのだろうか。私は今そんな思いにかられています。

### 阪神地区

### 尼家連が「20周年記念誌」

尼崎園田家族会 河上 紀子

あまかれん

尼家連は結成から、今年で21年目を迎えます。尼家連とは、市内各地区で尼崎の旧保健センターごとにできた「中央」「東」「西」「北」「園田」の5家族会の連合会のことです。

20周年を迎える少し前、役員会で「記念誌を作ろう・・今までの足跡を残し、今後の家族会活動につなげよう」と決め、4名での記念誌実行委員会がスタートしました。20年の歴史を振り返りシンポジウムの記録や活動にご尽力いただいた方からのメッセージ、各家族会20年の歩み、利用できる社会資源、クリニック・病院情報など、内容の濃いものになりました。また、イラストや題字は家族の方が受け持って、すてきな手作り冊子になりそうです。アステラスから助成金もいただき、6月の総会で、配布する予定です。

この編集にあたり、家族会ができた当時の資料やニュースを見ました。家族会の集まりにさえ人目をはばかりて来なければならなかったこと、一人ひとり家庭訪問をして会員を増やそうとされた役員との取り組み、退院しても行き場のない子どもたちのために作業所作りや資金集めに奔走された様子、また粘り強く要求を出し、勝ち取ってこられた権利など・・・そのご苦労に頭が下がる思いがしました。

現在の園田家族会は、役員さんの動きは活発で活動内容も豊富ですが、会員さんの参加が少ない現状です。つい、愚痴が出てしまうこのごろでしたが、過去の先輩方の取り組みを知り、初心に帰り足を使って会員さんと直接お会いしてお話をすることが大切だと気がきました。

## 中・西播磨地区

## ひめかれん「おやじの会」発足へ

ひめかれん(姫路市精神障がい者家族連合会)

顧問 司 波 多 聞

ひめかれん(姫路市精神障がい者家族連合会)の「家族のつどい」が6人でスタートしたのが6年前。それが現在では、年6回の開催に平均30人ものご家族が、熱心に参加されています。

ただ、その家族のほとんどが女性、つまりお母さんで占められていることに疑念を抱いていました。つまり、父親の“存在感”が薄いのです。中には、毎回のように顔を出している父親の姿も見かけるのですが、どうしても母親の“勢い”に埋没してしまっているのです。

当然、家庭内では、夫婦で当事者である子供さんに相対しているはず。であれば、父親ならではの心情をくみ取る必要があるのではと考えたのです。

そこで、このたび父親だけにお声をかけたところ、12人の父親が参集したのです。母親の場合とは違い、静かに話した父親からは、母親とともに対応している状況がほとぼるのように語られていました。それぞれ状況はさまざま、家庭内に引きこもっている最中の当事者もあれば、寛解し、就労に向けて取り組んでいる当事者もいるなど、家庭内の様子を母親とは違う観点から語ってくれました。

こうして、父親ならではの観点から、今後学習していこうという意気込みが感じられたこともあり、23年度は既存の「家族のつどい」と併行して、独自の活動をしていくことになりました。新たな活動を通して、より実効性のある家族会活動にしていければと思っています。

## 東播・北播・淡路地区

## 「ふれあいフェスティバルに参加」

すぎな家族会 上 田 修 司

昨年10月22日、東播臨海精神保健協会主催の“第22回ふれあいフェスティバル”が日岡山公園でありました。

心配していた天候にも恵まれ、前より用意していた材料(肉まん)、バザー用品(衣類・缶ジュース・ビール缶で作った風車)等も車に積み込み公園へ向かいました。現地に着き早速指導員、メンバーさん、家族会の皆さんと共に準備に取り掛かりましたが、メンバーさんも今日のフェスティバルを楽しみにしていたようです。

隣り、その向こうを見ても顔なじみの方が開店準備をされており、すぎな家族会の皆さんも肉まんの準備に取り掛かりました。客を呼び寄せるときは、腕のみせどころと張り切っておられました。

開店は9時から。しかし、待ちきれない方は早速品定めをしていました。人気商品の肉まんは好評で、売れ行き快調。また衣類は100円均一ということもあって完売し、缶ジュース類や風車も底をつき、想定していた以上に売れました。

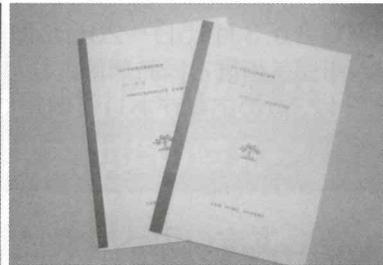
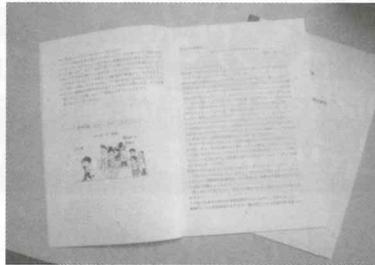
一方グラウンドでは、障がい者と地域老人会との交流会とすることでグラウンドゴルフが催され、メンバーさんは日頃の練習の成果を発揮すべく、我がすぎな家族会からも2チーム(8名)が参加しました。成績はもう一つでしたが、地域の方々の暖かい支援を受け、和やかなムードのなか交流を深めるいい機会となりました。

また、中央舞台では小学生低学年の太鼓のバチ打ち、民謡同好会による民謡、踊りなど多彩な催しが行われ楽しい一日を過ごすことができました。障がい者が地域の中で暮らしていくために、地域の人々との交流を通じ理解を深めるいい機会であったと思います。

神戸地区

## 木の芽家族会 “Word隊” 奮闘記

木の芽家族会 中 井 新 三 郎



「これは聞き取りにくいなあ」「もう一遍流して」これはWord隊テープ起こしの作業風景の一コマです。

このWord隊発足のきっかけは、“新規発症患者のための家族教室”での講演内容を参加できなかった方や同じ悩みを抱えている家族の方にもお伝え出来ないものかと木の芽家族会の定例会で提案されたのが発端です。

毎週月曜日に魚崎駅近くにある「咲くら工房」の一室をお借りして、作業所のメンバーさんと一緒に4～5名でテープ起こしに取り組んでいます。毎回1時間30分の作業で文章化できるのは会話にしてわずか3分程度、結局1年がかりで約2時間分の講演内容をまとめるという根気のいる作業です。この作業を通して少しでもメンバーさんの自立促進に繋がればと思っているのですが、話の内容が当事者にとって精神的に負担になるようなものもあり、これでいいのかと迷いもありました。しかし今では、病状を正しく理解することが結果的には本人自身のためになるのではないかと考えています。

このような作業の合間に交わされる会話には、生活上での悩みや不安、夢や希望など様々ですが、これらの想いを身近に共有できるのもWord隊の良いところだと思っています。

今日もパソコンに向かう真剣な眼差し、スピーカーに耳を傾け集中しているWord隊員の姿に、思わず心の中で“頑張れ”とつぶやいていました。

「講演記録集」のお問合せ・・・木の芽家族会事務局（ひらめの家） TEL 078-881-1940

\*\*\*\*\*

### 東日本大震災義援金募集

3月11日東日本一帯を1000年に1度と言われる大地震と大津波が襲いました。亡くなられた方に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。又1日でも早い復旧・復興をご祈念申し上げます。

阪神大震災を、内外のご支援を得ながら復旧・復興した体験を持つ兵家連は、3月14日会員の皆様に義援金を呼びかけましたが、5月20日現在1,104,224円を拠出していただきました。ご協力ありがとうございます。4月30日現在兵家連に集まりました分をみんなねっとに送金し配分につきましては、みんなねっと東日本大震災対策本部にゆだねたいと思います。

なお、「東北地方太平洋沖地震対策本部」の構成は

本部長 理事長 川崎洋子、副本部長 副理事長 原田行造（静岡県）・武澤スミ（新潟県）、担当理事 飯塚寿美（埼玉県）・本條義和（兵庫県）です。

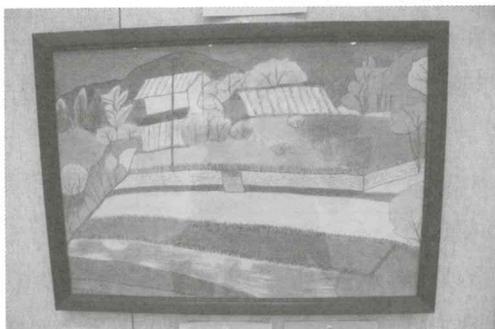
同対策本部では、被災地の家族会会員及び精神障害者等の被災状況の情報収集と義援金の募集及び配分方法の検討を行います。

第6回兵庫県障害者芸術・文化祭  
「美術工芸作品公募展」が開催されました

標記の展覧会が3月15日～20日に原田の森ギャラリー（兵庫県立美術館王子分館）で開催されました。当期間中は神戸市民美術展と同時開催となり、例年より多勢の観客が訪れました。絵画、書道、写真、工芸など多くの分野から423点の応募があり「例年に比べて大型の作品が増加し、質もすごく向上しています。」と審査員より好評でした。

3月20日に入賞作品の表彰式があり、(社)兵家連会長賞には瀬戸セツ子さんの絵画「田舎の風景」が選ばれました。

来年の展示会は平成24年3月13日～18日に同じ会場で開催の予定です。皆さんの心のこもった作品をお待ちしています。



田舎の風景

コメント

(会長)

おめでとうございます。

明るくて綺麗な絵ですね。

(瀬戸)

有難うございます。大変嬉しいです。

田舎の景色が大好きで、よくスケッチに出かけています。

平成23年4月1日受付開始!! 障害年金の1級・2級を受けられている方へ

### 障害年金加算金の対象が拡大

障害年金を受ける権利が発生した後に、ご結婚やご出産などの理由により生計維持関係のある配偶者やお子様がいらっしゃる場合にも、年金の加算金が支給される制度が始まります。

これまででは・・・

- 障害年金を受ける権利が発生した時に、すでに生計維持関係のある配偶者やお子様がいらっしゃる場合にのみ加算金が支給されていました。

平成23年4月からは・・・

- これまで加算金の対象になっていなかった方で、平成23年3月31日時点で生計維持関係のある配偶者やお子様のいらっしゃる場合は、法律施行時（平成23年4月）から加算金の対象となります。
- 平成23年4月1日以降にご結婚されたりお子様が産まれたなどの理由により、生計維持関係のある配偶者やお子様がいらっしゃる場合には、その事実発生日から加算金の対象となります。  
(年金の支払いは事実発生日の翌月分からです)

※手続きには別途添付書類が必要な場合がございますので、事前にご確認下さい。

**お問い合わせは、お近くの年金事務所・街角の年金相談センター、または**

「ねんきんダイヤル」 TEL 0570-05-1165 IP電話・PHSからは TEL 03-6700-1165

【受付時間】 月～金曜日：午前8：30～午後5：15まで 第2土曜日：午前9：30～午後4：00まで

**8月までに手続きすれば、4月分から支給されます。(日本年金機構近畿ブロック本部)**

電話  
相談

Q&amp;A

PSW 藤井 菜穂子

## 災害に遭った時のために～ふだんから出来る防災の備え～

この度ご相談頂いたご家族からの事例を取り上げたいと思います。  
尚、秘密厳守の立場から内容は若干変更させていただいております。

## 相談者：当事者の母 60代

## 質問

40代の娘は、数年前から、通院先の近くのアパートで一人暮らしをしています。この度の大震災以後、「自分も災害に遭って一人になってしまったらどうしよう」と毎日不安を訴えています。確かに、沢山の方の支援を受けてようやく何とか生活している娘が、急な災害に遭い、一人で投げだされてしまったら…と、親としても心配です。病気を抱えて生活している娘が、もしもの時に必要な支援を受けられるよう、安心できる方法はあるのでしょうか。

## 回答

この度の震災では、特に病気や障害を抱えた方や高齢者の方々が、必要な医療や処置が受けられずに困っておられるというニュースも多く、ご家族のご心配も同様ですね。これから起こり得る災害に備えて、今できることは何か…ということを確認しておくことはとても大切なことです。

先日、あるセルフヘルプグループのメンバーの皆様が、病気を抱えて地域で暮らす方々の視点での「災害への備え」について文書にまとめたものを拝見したのですが、とても参考になるものでしたので、一部をご紹介します。(作成者様に掲載の了承はいただいておりますが、スペース上省略・要約させていただいております)

たとえば、普段から心がけておきたいこととして、①自分が下敷きになるかもしれないところには家具を置かない、②枕元に懐中電灯、携帯電話や携帯ラジオ、めがねや入れ歯、ホイッスルを置く、③足元に底の厚い履物を置く、④3日分ぐらいの水と食料をいつも蓄えておく、といった一般的な備えに加えて、⑤「避難カード」を用意すること、がありました。この、「避難カード」というものは、ご本人の氏名、連絡先、血液型、かかりつけ病院の連絡先や主治医の名前、また現在服用中のお薬の情報(薬名や処方量)などを記入するオリジナルの情報カードです(下図参照)。

《避難カード》			
かかりつけ	病院	緊急連絡先	
		名前	( )
主治医	先生	TEL	
TEL		名前	( )
服薬中の薬		TEL	
( mg× 錠)日	(ふりがな)		
( mg× 錠)日	氏名	血液型	(Rh )
( mg× 錠)日	TEL	( )	
( mg× 錠)日	携帯	( )	

よく持ち歩く障害者手帳などのカバーと一緒にに入れておけば、常に携帯でき便利です。精神科の病気を抱えた方にとってお薬は本当に大切なものですが、災害時には必ずしもかかりつけの医師にかかれるとは限りませんので、普段の処方内容を分かるようにしておくことはとても重要です。また、お薬の処方原則として医師の決定によるものなので、避難カードと併せて最新の処方箋を持ち歩いておくとうれいそうです。また、ご自身でSOSが

出しにくい方でも、避難カードに支援者や緊急時の連絡先をできるだけ沢山記入しておくことで、より早く関係者に辿り着く可能性にも繋がります。

実際に災害に遭った時にどれだけのことが出来るかは分かりませんが、もしもの備えについて今一度一緒に考えてみることで、少しでもご本人様、ご家族様の不安が和らげば…と願います。

# 兵庫県精神障害者家族会連合会 H22年度 相談業務報告(障害者110番)

平成22年度担当者: 17名

## ① 月別延べ相談数

4月	100
5月	97
6月	88
7月	89
8月	91
9月	103
10月	93
11月	79
12月	100
1月	57
2月	124
3月	178
合計	1199件

※1ヶ月平均 約100件

## ② 男女比

男	女
753	446

## ③ 当事者割合

当事者	家族等
694	505

## ④ 年齢別件数

20歳未満	23
20歳代	108
30歳代	370
40歳代	428
50歳代	195
60歳代	44
70歳以上	31

## ⑤ 地区別件数

神戸市	789
阪神南	159
阪神北	39
東播磨	111
北播磨	19
中播磨	14
西播磨	10
但馬	2
丹波	4
淡路	20
県外	32

## ⑥ 相談内容別件数

家族・家庭 380件		福祉サービス 127件	
人生・家族	348	在宅福祉サービス	43
家庭生活	32	施設・機関・窓口	83
その他	0	福祉機器	0
法律 12件		介護・介助	1
家族問題	5	その他	0
財産・金銭	3	生きがいづくり 35件	
事故・賠償	1	趣味・余暇活動	31
人権	3	社会参加	3
その他	0	行事情報	0
経済・生活 196件		その他	1
生計	15	保健・医療 449件	
所得保障	14	保健・衛生	40
年金・手当・恩給	67	医療相談	382
税金	2	医療費	7
住宅・設備	2	医療関係機関	18
仕事	93	その他	2
その他	3	合計 1199件	

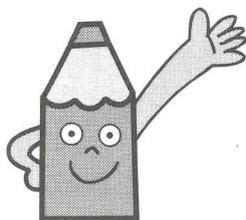
### 精神保健福祉に関する電話相談

平成23年1月28日より  
電話番号が変わりました

兵家連では、精神障害者に関する相談ごとについての  
電話相談を受付けています。(土・日・祝日は除く)

毎週、月～金曜日、10時より15時

TEL 078 - 891 - 3886



### 〈兵家連賛助会員募集〉

あなたのご支援で、兵家連は運営されています!!

年会費 団体の場合1口(10,000円)以上  
個人の場合1口(3,000円)以上  
一口以上、何口でも結構です  
振込先 郵便振替 01110 - 4 - 83568



## 地域のドクターより

## おの心療クリニック

院長 小野 廣文

阪神御影駅の北側で開業をしているおの心療クリニックの小野と申します。気がつけば、開業して10年が経過いたしました。10年の節目で、この4月より、「ほほえみ訪問看護ステーション」を開設する運びとなりました。

ほほえみ訪問看護ステーションは、精神障害の方々を主に訪問する訪問看護ステーションです。一般の高齢者を主とする訪問看護ステーションは多くありますが、地域密着型で、精神科に特化した訪問看護ステーションは兵庫県でも多くはありません。

昨今、日本でも、入院医療から在宅医療へのシフトという大きな流れがあります。精神科医療も、入院中心から地域移行支援へのシフトが進められています。

訪問看護ステーションの開設の経緯といたしましては、今後、精神障害者の方々が在宅で安心して暮らせる組織を作りたいということを常々考えておりました。地域の精神科診療に携わって、精神障害者の方々の高齢化というのが最重要の課題だと思います。精神障害者の方々が高齢化すれば、当然その親御さんも高齢化し、世話が困難となったときに、どのような手立てをうてばいいのか、私自身、痛切に感じておりました。

仮に障害者の方々が将来、一人になっても、在宅で、安心して暮らせるチーム医療を作ることができればと常日頃、考えております。チーム医療とは、精神科医師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士などが一丸となって地域での精神障害者の方々を支援していくことです。

チーム医療を作り上げるには、時間がかかると思いますが、精神障害の方々、そのご家族の方々が少しでも安心して暮らせるように、私自身も日々、精進していく決意でおります。また、地域の家族会との連携がなければできないものと考えております。

今後とも、よろしく願いいたします。

## ほほえみ訪問看護ステーション

所長 日吉 基次

この4月より「ほほえみ訪問看護ステーション」を開設することとなり、そこの所長を務めることになりました日吉と申します。

以前は神戸市北区にある有馬高原病院で精神科看護に携わってきましたが、小野先生との縁もあり、今回精神科に特化した訪問看護ステーションを運営することとなりました。

「ほほえみ訪問看護ステーション」は精神障害の方々を主に訪問する訪問看護ステーションです。現在の精神科医療の状況は、入院中心から地域移行支援へと進められております。精神科に特化した地域密着型の訪問看護ステーションは兵庫県でも数少ないものです。私どもといたしましても、精神障害者の方が少しでも在宅で安心して暮らせるよう、支援していけたら、と考えております。

しかしながら、不慣れなこともあり、皆様にはご不便をおかけすることになるかもしれませんが、地域に密着できる訪問看護ステーションにできるよう、精進していく決意でありますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 当事者のコーナー

## 被災地を想う

いこいの場ひょうご 高瀬 建三

3月11日午後4時頃JR元町駅で号外を手にした。『宮城で震度7』その見出しに驚いたがまさか東日本大地震の序章とは思ひもしなかった。津波から原発事故まで起こり、被災地は復旧、復興への道程が大変だ。日本中の人々が震災躁になりやがて震災うつになる。その時、より多くの精神医療の専門家や家族、障害当事者の存在が大きな力となる。ボランティアで参加する時にも三日や四日ではなく長期滞在の構えが必要になる。被災者の相談、要望も多様だろう。

ラジオで被災者が「ふるさともぎ取られ、職もままならず・・・」と語っていた。被災者の職が深刻な問題となっている。津波で大型船が陸地に乗り上げ、高価な漁網が使えなくなった。農地は海水で水びたしになり、再生はむつかしいと言う。加えて風評被害で農産物、水産物が売れない。これまで漁に出て、また農作業をしていた被災者にとっては、歯がゆいことだろう。家族も失って立ち直れない人も多だろう。住居を失った人も多い。リフォーム・新築したばかりの家を失った人も多いと聞く。想像を絶する事態だ。

障害当事者として特に心配なのは精神科病院や精神障害者の安否情報が入ってこない事だ。

私自身も1995年の阪神淡路大震災で被災しアパートの自宅は全壊、ケガを負って避難所暮らしを余儀なくされた。つらい苦しい口にはできないような体験もした。何より「家を失った」という喪失感に支配され、なかなか当たらない仮設住宅に入居できるまでの待機所暮らしが続き、京都・大阪・神戸と支援団体が用意してくれた仮住まいを転々とした。様々な人達の支援を受けながら今は公営住宅に落ち着いている。今年で13年目だ。住んで8年目に自治会長になった時、精神障害者であることを私は告白した。周囲はいろんな反応をした。まだまだ私達に対するべつ視・偏見は根強く根深い。それでも理解してくれる人も多かったのでそれがうれしかった。

私たちに意味もなく「頑張れ」と「励ます」人は多い。被災地に対しても同然だ。もう頑張りすぎて心が折れそうなのに頑張れと言われるのはつらい。今、自粛ムードがまん延している。西日本から元気な支援をしていこう。ラジオのアナウンサーが言っていた。「東北を買って食って支えよう」と。風評を流すまい。広めまい。信じまい。

**本條会長が兵庫県功労者表彰を受賞**

兵庫県（井戸俊三知事）は、平成23年5月3日（憲法記念日）平成23年の兵庫県功労者（22部門・240人）を表彰しました。

当連合会の本條義和会長も福祉功労に選ばれ、5月18日（水）13:00～の兵庫県公館において受賞されました。表彰式の後記念撮影および祝賀ティーパーティーも催されました。

# 兵家連活動日誌

月	日	活動内容	場所	担当者			
平成22	12	1	ひょうご人権ネットワーク全体会	県公館	本條		
		7	H22年度第2回権利擁護部会	県福祉センター多目的ホール	本條		
		8	三役会議	兵家連	本條・涌波・喜田・米		
			家族会部会	兵家連	本條・涌波・喜田・米・大倉・三木・砂田		
			光風病院機能改善検証会	光風病院	涌波		
		10	のじぎくスポーツ大会	グリーンアリーナ	本條		
		12	家族教室神戸地区(三宮)	神戸市勤労会館	木の芽家族会・涌波		
		13	障害者就業・生活支援センター選考会	県庁	本條		
		14	神戸大学院大学(講師)	同校有瀬キャンパス	河上		
		16	丹波・北播地区精神保健福祉研修会	三木市立教育センター	本條		
		17	県社協評議員会	ラッセホール	本條		
		20	障害福祉課大西課長と打合せ	県庁	本條・豊田		
		平成23	1	4	新年交礼会	県公館	本條
					県障害福祉局へ新年挨拶	県庁	本條
				6	県知事3障害団体新年挨拶	県庁	本條・涌波
					人権啓発協会	のじぎく会館	本條
				7	神戸市役所・こころの健康センターへ新年挨拶	神戸市役所・こころの健康センター	本條・涌波・喜田
					病院協会へ新年挨拶	病院協会	本條・涌波
				8	新福祉センター竣工式	福祉センター1F	本條
					H23新年福祉のつどい	クラウンプラザ神戸	本條
	病院協会新年のつどい			クラウンプラザ神戸	本條・涌波		
11	関サナ田村 PSW 来訪			兵家連	本條		
12	三役会議			兵家連	本條・涌波・喜田・米		
	家族会部会			兵家連	本條・涌波・喜田・米・大倉・三木・砂田		
	(財)兵庫県障害者スポーツ協会理事会			県庁	本條		
14	公明党新春年賀会			クラウンプラザ神戸	本條		
15	家族教室阪神南地区(芦屋市)			芦屋市保健福祉センター	芦屋家族会		
18	家族教室阪神南地区(西宮市)			西宮市保健所講堂	西宮家族会・大倉		
24	家族教室中播地区(姫路市)			姫路市保健所	NPO 法人えんじえる会・本條・米		
25	東播・淡路地区精神保健福祉研修会			明石生涯学習センター	明石ともしび家族会・本條		
27	県会議員精神保健研究会北播地区交流会			西脇市黒っこプラザ	本條・久下・伊東・北川		
28	新福祉センターへ移転(引越し)						
2	2			三役会議	県福祉センター	本條・涌波・喜田・米	
				家族会部会	県福祉センター	本條・涌波・喜田・米・大倉・三木・砂田	
	3			精神科救急医療体制連絡調整委員会	県民会館	小村	
	4			平成22年度家族会リーダー研修会	県福祉センター多目的ホール		
				平成22年度家族会交流会	県福祉センター多目的ホール		
	5			関西青少年サナトリウム家族教室	関西青少年サナトリウム	本條	
	10			みんなねっと理事会	東京センター学院	本條	
				みんなねっと総会	東京センター学院	本條・涌波	
		家族教室・淡路地区(洲本)	サンライズ淡路	大前			
	16	第2回神戸地域障害者雇用・就業支援ネットワーク会議	県看護協会会館	涌波			
	19	家族教室・丹有地区(三田)	三田市総合福祉センター	にじの会			
	22	栃木県連(講師) 家族相談員養成研修会	栃木県青年会館 コンサート小ホール	本條			
		地域職業リハビリテーション推進フォーラム	原田の森	涌波			
		家族教室北播地区(加西)	アスティアかさい	はとの会・つつじ会			
	23	第3回理事会	県福祉センター 201会議室	理事・監事・顧問			
		第4回県立校風病院機能改善検証会	光風病院	篠原			
	24	福祉のまちづくり条例改正等説明会	県福祉センター	米			
	25	第3回権利擁護部会	県福祉センター	本條			
	民主党兵庫県連訪問	民主党兵庫事務所	本條				
28	スポーツ振興第1回障害者部会	県庁	本條				
3	1	県障害者雇用・就業ネットワーク県レベル会議	農業共済会館	涌波			
		三役会議	県福祉センター	本條・涌波・喜田・米			
		家族会部会	県福祉センター	本條・涌波・喜田・米・大倉・三木・砂田			
		3	県精神障害者相談員養成研修会(講師)	加古川市男女共同参画センター	藤田睦、野村楠美		
		4	奈良県連電話相談準備研修会	奈良県三の丸会館	本條		
		7	阪神地区精神保健福祉研修会	宝塚総合福祉センター	阪神地区家族会・本條		
		9	県障害福祉審議会	県職員会館	本條		
			兵庫障害者団体連絡会議	県職員会館	本條・涌波		
			家族教室中播地区	福崎町文化センター	米		
		10	県精神障害者相談員養成研修会(講師)	西宮市民会館	喜田、砂田		
		11	芸文祭美術工芸作品展選考会	原田の森ギャラリー	篠原		
			日本年金機構担当者と面会	来所(2名)	本條		
			障害者自立支援連絡協議会	県庁	米		
		14	いこいこの場ひょうご高瀬様、村瀬様	来所(2名)	本條		
			3・21全国一斉署名準備会	県福祉センター	本條・涌波		
		18	兵家連会誌 No.67 編集会議	県福祉センター	本條・涌波・米・坂井・伊東・梶山		
		20	コスモケア家族会設立総会	(株)コスモケア	涌波		
			芸文祭美術工芸作品展 表彰式	原田の森ギャラリー	本條		
		25	平成23年3月(23年度予算)総会	県福祉センター多目的ホール	会員		
		27	姫路市長との懇談会	姫路市自治福祉会館	本條・米・ひめかれん(大住他) 姫路地区育成会(松尾他)		
29	県スポーツ協会理事会	県民会館	本條				
	県社協評議員会	県福祉センター	本條				

## ご協力 ありがとうございます

平成22年度も、下記の団体及び個人の方々が兵家連活動にご賛同頂き、賛助会員にご加入頂きました。厚く御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。(順不同、敬称略)(平成23年3月31日現在)

### 医療機関の部

中山神経内科 中山幸平、高橋クリニック院長 高橋能成、医療法人社団佐々木医院 佐々木嘉幸、永安心療クリニック、金高医院、新川病院 新川賢一郎、医療法人社団かもめクリニック理事長 今村洋一郎、吉村神経内科 吉村寛、医療法人尚生会 湊川病院、野津医院、有馬高原病院、雄岡病院院長 谷口敬子、村上メンタルクリニック 村上啓三、原田心療クリニック 原田元基、片岡医院、医療法人内海慈仁会 姫路北病院、医療法人社団向陽会 向陽病院、神戸中央市民病院 北村登、柳澤クリニック 柳澤正博、いずみ心療クリニック 谷口加容、はんしんメンタルクリニック 真殿実、平本医院 平本憲孝、宮崎クリニック 宮崎隆吉、播磨大塩病院、橋本クリニック、医療法人社団造山会 まきび病院、医療法人社団随緑会ことしろクリニック理事長 印部亮助、医療法人社団高島クリニック理事長 高島繁樹、大森クリニック 大森和広、たなか心療内科 田中勇三、医療法人達磨会東加古川病院、大植病院、神戸市立中央市民病院精神神経科、医療法人古橋会 揖保川病院、市立医療センター西市民病院精神神経科 見野耕一、大森クリニック 大森和広、医療法人千水会 赤穂仁泉病院

### 一般団体の部

社団法人神戸市歯科医師会、社団法人伊丹市医師会、ヤンセンファーマ株式会社、社団法人赤穂市医師会、東播磨臨海精神保健協会、有限会社タツマ商事取締役 藤田ヒサエ、社団法人兵庫県トラック協会、社団法人兵庫県医師会、宝塚市医師会、社団法人兵庫県民間病院協会、いこいの場ひょうご、株式会社コスモケア、有限会社幸楽、カトリック聖ヨハネ病院修道会、佐用郡医師会、兵庫県高齢者生活協同組合、北家族会、社団法人川西市医師会

### 法人・施設・作業所の部

NPO法人くぬぎ、NPO法人神戸あすなろの会 上脇洋子、NPO法人つばさ、社会福祉法人すいせい、NPO法人あいらんど、NPO法人蓼の会ぐりん・どあ、(社会福祉法人)ゆうわ福祉会、NPO法人居場所理事長 阪田憲二郎、NPO法人いねいぶる、NPO法人来楽輪 京口共同作業所、淡路障害者生活支援センター

### 個人の部

高嶋秀忠、佐野千恵子、櫻井文男、多田トモ子、久保照代、神澤正三、上田一子、木津弘子、平野昌司、八木大四郎、藤村真喜男、宮元隆雄、谷洋四郎、竹内貞子、野口史織、砂子了一、伊賀美枝子、和田美代子、鈴垣育子、門脇まさ江、山本久子、高井武雄、田原久子、今村ハル子、天野洋子、中元幸治、山口なつ子、三村花、高野純江、朝田一郎、舊谷芳光、松本ヒサ子、田中英雄、井上忍、尾崎弘、中井久夫、金田知子、上田修司、中村慶枝、梶山護、福本裕子、中村雅宥、青木聖久、西山輝夫、北川富啓、青木彦一、小菅和子、山内和子、久保田智万、岩田優、細見和弘、有野和枝、西脇忠之、木下輝治、湖雅子、和泉夏子、佃誠恭、石本勝、藤田修美、西ひとみ、匿名希望1名

## 編集後記

この度の東日本大震災により被災された皆様方には心からお見舞い申し上げます。一日も早く復興されるようお祈り申し上げます。我々もできる限りの応援をしたいと思っています。

今年より「兵家連誌」改善の一環として、編集員の増強を行いました。より皆様のご意見を反映するものと思っていますので、ご期待下さい。今後ともよろしくお祈りします。(米 靖弘)

編集委員 / 本條・涌波・米・坂井・瀬谷崎・伊東・梶山

地区通信員 / 國下・上田